

# 目指すのは「地域を愛し、地域から愛される前原中」



文



糸島市篠原にある前原中学校。「自主性」を大事にし、何事にも生徒たちで考え話し合い、協力して取り組むことを重視しています。その代表が、学年執行部が企画する「学年企画」です。学年ごとに現状の問題点を挙げ、その解決に向けて各クラスで協議します。意見の違いをお互いが納得できるように話し合うことで、コミュニケーション能力の向上だけでなく、「自主性」も育てています。

地域とのつながりも大事にし、糸島市で取り組む「いとしま学」では、毎年1年生が糸島について学び、学年全体で総括として学びを共有しています。この「いとしま学」での学びが、地域の現状と問題を知り、生徒が自分たちに何ができるのかを考え

るきっかけになっています。また「地域貢献活動」と呼ばれるボランティア活動にも力を入れています。多久川(たぐがわ)の清掃や小学校の運動会の準備や後片付け、「糸島三都110キロウォーク」の応援などに参加し、その経験が生徒の自信につながっています。

東日本大震災後から「忘れてはいけないことを、忘れないようにしよう」という合言葉のもと始めた「ひまわりプロジェクト」。令和元年からは種を植えるだけでなく、感謝の気持ちを書いて、その思いを忘れないようにしようという「ひまわり週間」も始めました。学校や地域での日々の感謝と愛情を忘れず、「地域を愛し、地域から愛される前原中」を目指しています。



集中力を高める学年企画  
「クラス対抗百人一首大会」の様子



糸島三都110キロウォークでウォーカーを応援し、  
元気づける生徒

